

第 2 期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等について

1 第 2 期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

人口減少と少子高齢化が進行する中、次の世代に引き継ぐことができる元気な秋田市を目指し、まち・ひと・しごと創生法の規定により、国および県の総合戦略を勘案し、将来の目指すべき姿の実現に向けた基本的な方向や具体的な施策をまとめている。

〈計画期間：令和 3 年度から 7 年度までの 5 か年〉

基本目標

- ①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ②魅力的で安定したしごとのある場をつくる
- ③多様なつながりを築き、秋田市への新しいひとの流れをつくる
- ④高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める
- ⑤持続可能な魅力ある地域をつくり、安全安心な暮らしを守る

2 第 2 期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況【資料 1 - 2】

(1) 第 2 期総合戦略の効果検証

総合戦略の取組を推進するに当たり、各施策の課題や今後の方向性等を確認するため、令和 6 年度末時点の進捗状況等の効果検証を行う。

評価基準は、以下の 4 段階としている。

S：令和 7 年度目標の水準を上回っている A：策定時を上回っている
B：策定時から横ばい C：策定時を下回っている

(2) 第 2 期総合戦略に係る指標の進捗状況（令和 6 年度末）

5 つの数値目標では、A 評価が 1 件、B 評価が 1 件、C 評価が 3 件であった。また、数値目標に係る 30 指標（KPI）のうち、S 評価は 12 件（前年度比 + 4 件）となり、S 評価および A 評価は全体の 66.7%（同 + 3.3 ポイント）であった。

進捗状況（令和 6 年度末）

S：目標水準を上回る A：策定時実績を上回る B：横ばい C：策定時実績を下回る -：実績把握不可

基本 目標	数値目標						指標数 KPI	S		A		B		C		-	
	策定時	実績	目標	評価	前回	前年度		前年度	前年度	前年度	前年度	前年度	前年度				
①	合計特殊出生率	1.26	1.08	1.63	C	C	5	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0
②	市の施策による 就業機会確保数	2,452人	5,020人	5,170人	A	A	7	4	3	1	1	0	0	2	3	0	0
③	市外への転出超過の 改善	-411人	-558人	-205人	C	A	6	1	0	2	3	0	0	3	2	0	1
④	要介護認定を受けて いない高齢者の割合	85.2%	85.0%	85.4%	C	B	7	2	1	3	4	0	0	2	2	0	0
⑤	本市に住み続けたい 人の割合	74.4%	73.1%	80.0%	C	-	5	2	1	1	2	0	0	2	2	0	0
合計							30	12	8	8	11	0	0	10	10	0	1
								40.0%	26.7%	26.7%	36.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	3.3%

(3) 今後の見通しについて（「目標達成に向けた課題あり」の指標）

計画期間中における目標達成について、10指標（前年度比+1）で「目標達成に向けて課題あり」との回答があった。

計画期間内での目標達成に向け、効果的な施策の推進を図るべく、年度当初にフォローアップ調査を実施し、課題や具体的取組の方向性を確認している。

基本 目標	No.	指標 (KPI) ★：総合戦略独自指標	策定時	実績				目標	評価	
			R元年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	前回	今回	
①	4	あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数（秋田市民）（人）	58	59	34	27	58	C	C	
	6	市の審議会、委員会などへの女性参画率（%）	31.3%	30.8%	31.4%	32.6%	50.0%	A	A	
②	9	市内大学卒業者の市内就職率（%）	23.6%	24.9%	22.5%	23.4%	33.3%	C	B	
	10	開業率（新規設立法人/法人数）（%）	4.3%	4.1%	3.8%	3.5%	4.7%	C	C	
③	16	秋田市の魅力を市外の人におすすめ・発信している人の割合（%）	29.6%	-	-	24.8%	35.0%	-	C	
④	23	がんの75歳未満の年齢調整死亡率（人口10万対）（%）	74.1%	74.4%	74.1%	※R8.2頃 集計結果	69.8%	A	A	
	24	★ボランティア活動を行っている65歳以上の人数（人）	2,748	2,603	2,564	2,657	2,748	C	C	
	25	★秋田市シルバー人材センターの会員数（人）	960	871	877	885	1,000	C	C	
	29	認知症サポーター数（累計）（人）	24,957	28,397	29,253	30,654	36,000	A	A	
⑤	32	年間バス利用者数（人）	7,245,554	6,155,821	6,399,823	5,941,696	7,500,000	C	C	

(4) 施策の推進に当たり活用している代表的なデジタル技術等について

施策の推進に当たり、26指標でデジタル技術を活用し、利用者の利便性向上や事務効率化を目的に各種申請の電子化など34件の取組を実施している。今後も、目標達成に向けた1つの手段として、デジタル技術の活用を検討していく。

活用しているデジタル技術	回答数
メール申請・受付（各種申請等）	11
オンライン開催(説明会、相談等)	6
SNS活用（LINE/あきた観光パスポート・イベント予約等）	4
電子申請システム（妊婦届、結婚支援センター会員登録料の補助等）	3
HP掲載（各種情報データ）	3
※その他	7
その他内容	
A I 入所選定/ディスコード/キャッシュレス決済/WEB予約システム/アプリ/バスロケーションオープンデータ化/予約制乗合タクシー（A I オンデマンド交通）の運行	

※従来の「デジタル田園都市国家構想交付金」が、今年度から「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」に名称が変更されたものの、国の現総合戦略である「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に合わせて、引き続き効果検証を継続する。